

Nano-ism



18
成人向





あの、えっど...
これでいいかな？
クロノおにいちゃん

ドキ

ドキ

もじ


もじ

「...これから何を...?」

Nano-ism



18
成人向



◆お久しぶりです、はじめましてLASKです。
またもや懲りずにリリなの本・・・
いや、はやて本ですw
今回は初めて本文にカラーページを仕込んで
みました。(´ω´)
巻頭カラーみたいな。
全ページフルカラーとかやってみたいけど
料金が高いのよ・・・(´・ω´)
それにしてもいつまで続くんでしょうか
このはやてフィーバー。(聞くな
もうかれこれ1年近く続いている気がします。(笑
見てくれている人はさすがに飽きてるんじゃ
なからうかと心配です。
今さらですかそうですか。orz
でも実際、このジャンルでいつまで描き続け
ていいんだろうとか思いますね。
同人を始めた頃はToHeart2だったりします。
なかなかこれだ!っていう作品に巡り合えない
わけですが・・・
最近こんなことをちょっと考えたりしてます。

さてさて中身のお話ですが、また隊長陣の
御三方デス。
気がついたら描いてしまってるんですよw
やっぱこの三人に魅力があまりすぎるのがいけ
ないんですYO!(謎
でわでわ、短い内容ですがマツタリと
お付き合いくださいませ～。

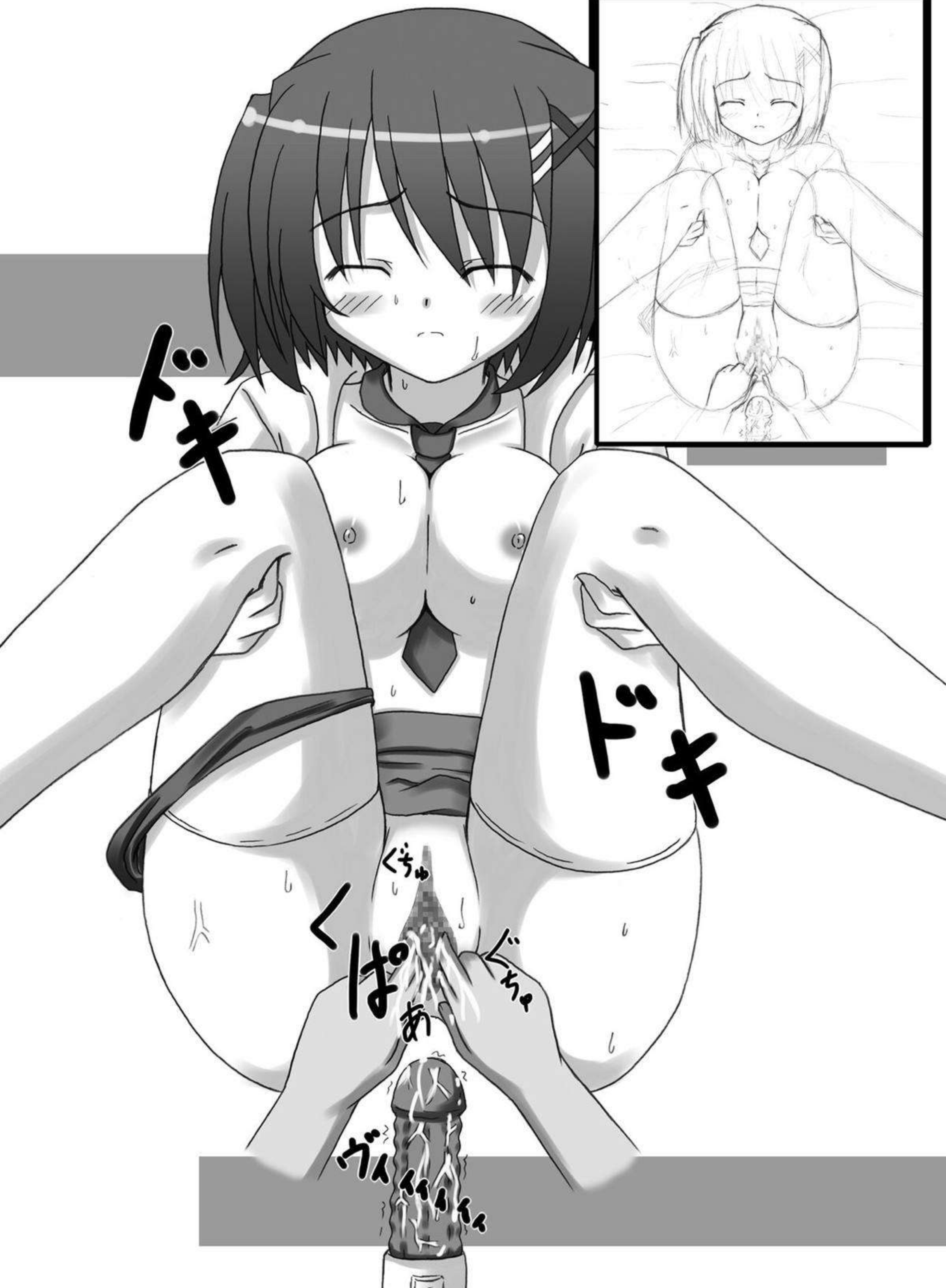
2008/06/15 LASK

◆今回は時間の都合上コメントがほとんど
ないです。orz
締め切りに追われてばっかで嫌一。(;つД)





「あの…んっ、こういうのはもう止めてください…」
「何を言っているんだ?こんなに溢れてるじゃないか。」
「それはその…」
「ほら、この辺りが好きだろう?」
クチュクチュ
「ひあっ!?んっあっ…あっ…」
「ほらほらどうした?膝が震えているぞ?」

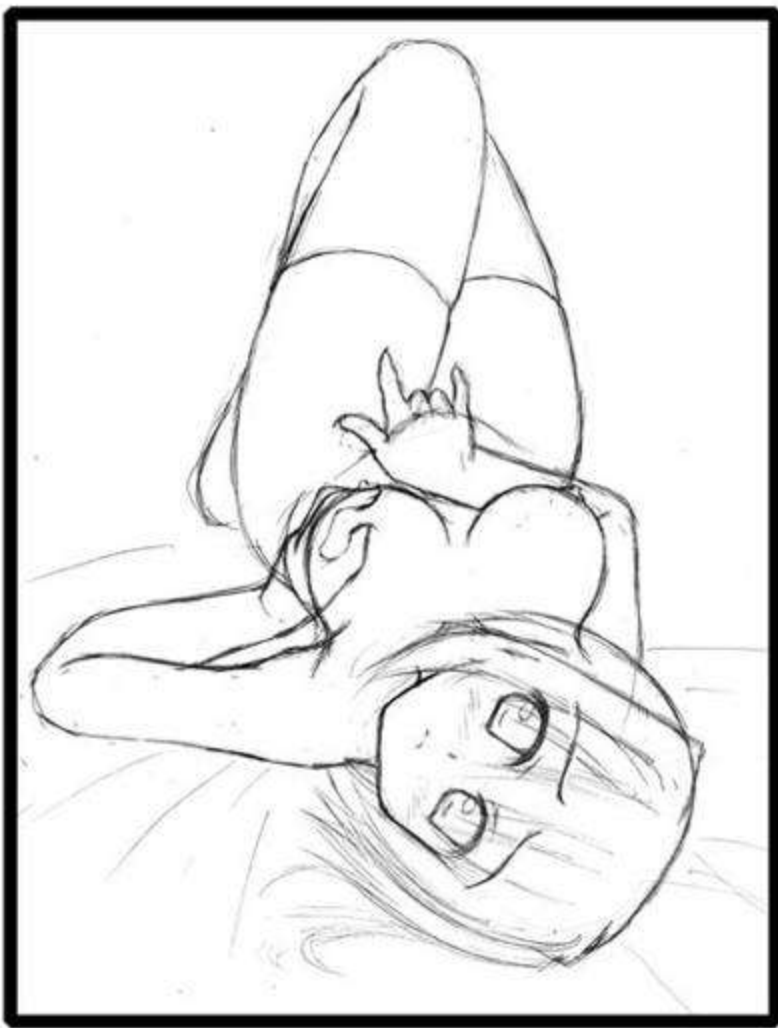


ドキ

ドキ

くちゅ
くちゅ
あ
ぐんぐん





「クックック・・・」

「とうとう捕まえたよ、フェイト君」

「くっ!!!」

「さて、これから素敵なショーを始めようか」

「なっ、なにをやる気だ!?!」

「なにって、君もいい歳だ。この状況でどんなことをされるかくらい分るだろう?」

「なっ!?!」

「ふふふっ、君の理性がどのくらい持つか
非常に興味深いよ。。。」

「やっやめろっ!近寄るな!!!」



「さて・・・外から触れただけで、これだけ反応をしてくれる君のことだ」
「コイツを入れたら、さぞかし面白いことになるのだから・・・くっつ」
「やっー、やめろお!!そんな大きいのが入るわけない!」
「ふふふっ、大丈夫だ安心したまえ、すぐに病みつきになるさ」
「私はやさしいからね、そうら、ゆっくりと入れてやろう」
ずぷずぷずぷずぷ
「んあー!?やめっーひっ





あそこまで描いておいて続きはなかつたりしますw
フェイトちゃんの運命やいかに。(えー

◆描くことが何も思いつかないのです
w
ほとんど寝てないで作業しているので
訳がわからなくなっております。

◆この空いたスペースをどうしましょう
かね?(聞くな

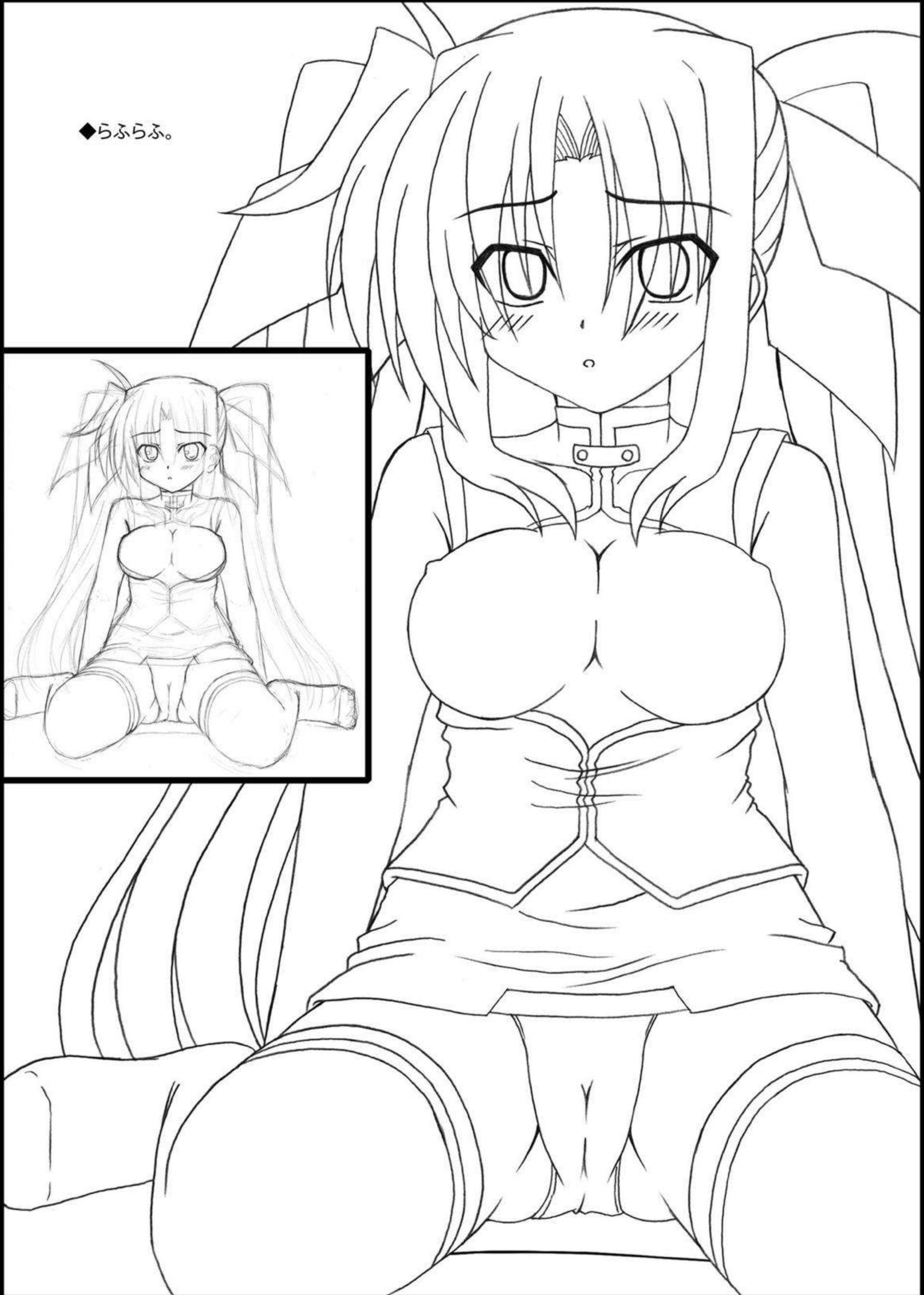
◆なんとかコメントを考えて描かねば
…とか、こんなこと書いてるうちに
どんどん埋まってきてますね。(おい

◆締め切りまであと2時間切りますたw

◆そろそろ本格的に時間がヤバイです。



◆らふらふ。





☆奥付☆

タイトル:Nano-ism

発行:りさいくる

発行日:2008年6月15日

サンシャインクリエイション40

印刷:株式会社ポプルス様

HP:<http://recycle.client.jp/>

MAIL:lask55@msn.com

※内容の無断転載はダメゼッタイ。



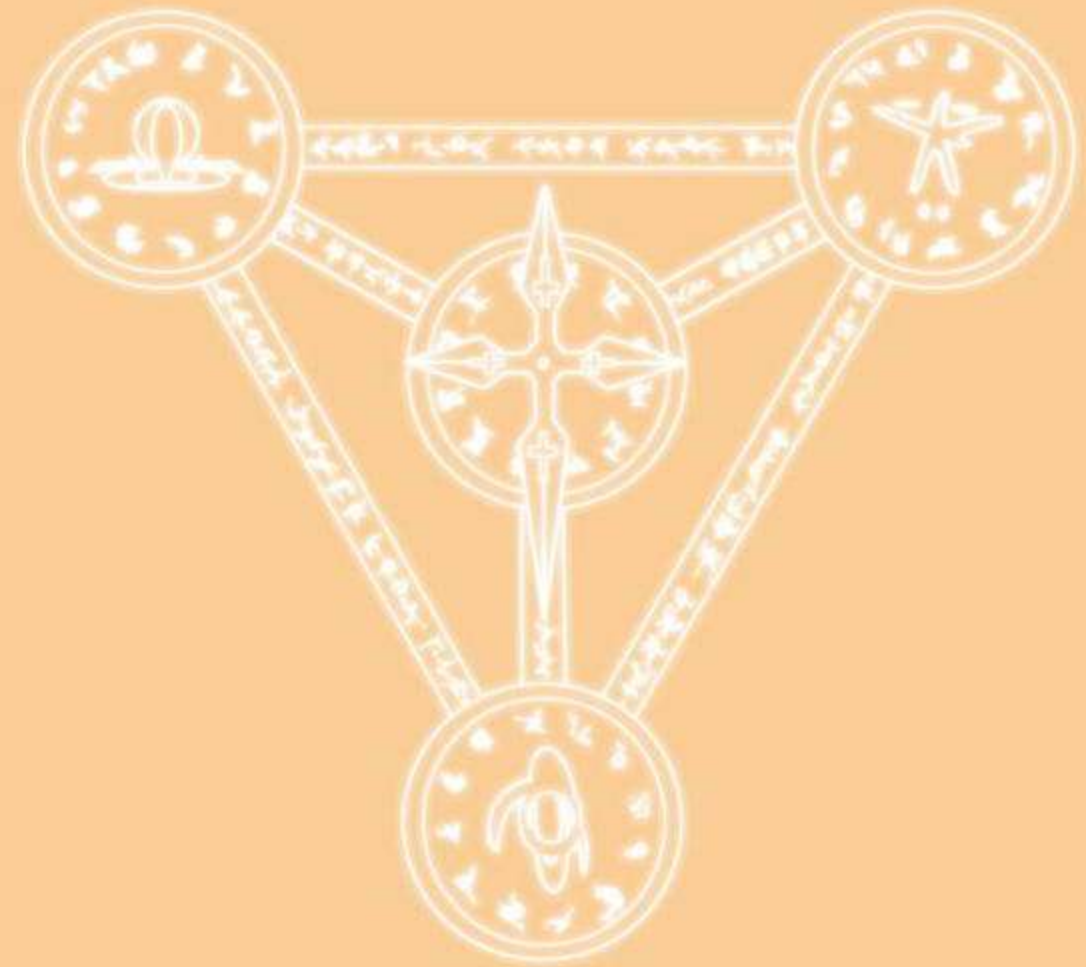
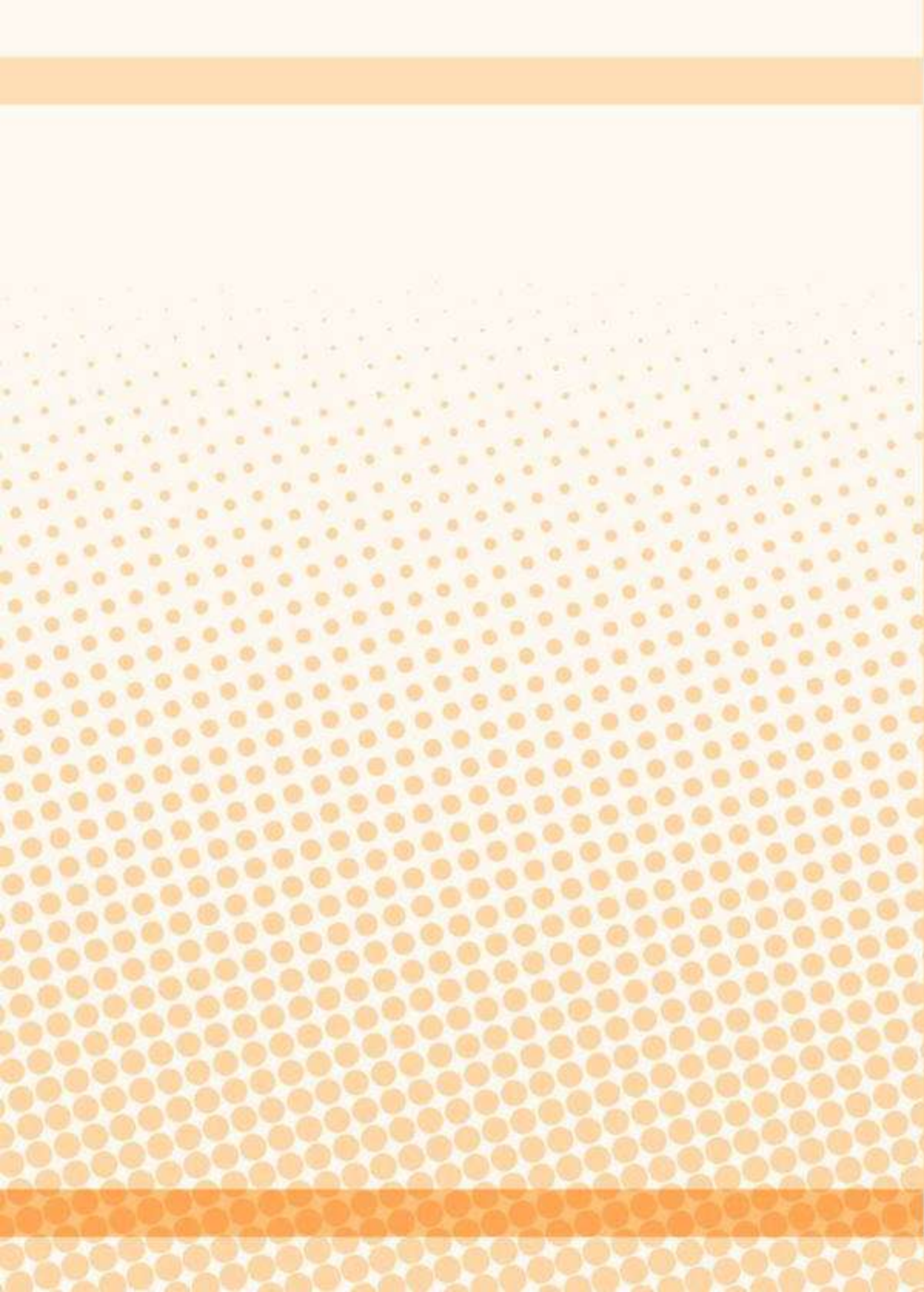
Recycle / 2008 SunshineCreation40

Nano-ism



18
成人向

Recycle / 2008 SunshineCreation40





Nano-ism



18
成人向

Recycle / 2008 SunshineCreation40

Nano-ism

18
成人向





あ、えっと...
これでいいかな？
クロノおにいちゃん

ドキ

、、これから何をするの...？

ドキ

もじ

もじ